

としま 議会だより

令和7年3月発行（年4回発行）Toshima Village 2025.3 No.108



▲悪石島グラウンドゴルフ大会にて

TOPIX

○令和6年12月定例会

12月9日～12月11日（3日間）

- ・ 条例の制定・改正 5件
- ・ 補正予算 7件
- ・ 契約 5件
- ・ 同意 1件 他 計 21 議案

○令和7年1月臨時会

1月16日（1日間）

- ・ 条例の制定・1件
- ・ 補正予算 1件

議会事務局では、議会だよりの表紙に掲載する写真を随時募集しています。

○一般質問 6件

- ・ 中島 次男 議員・・・2P
- ・ 埜口 裕之 議員・・・2P
- ・ 永田 和彦 議員・・・3P
- ・ 日高 助廣 議員・・・3P
- ・ 竹内 功 議員・・・4P
- ・ 赤木 芳樹 議員・・・4P

一般質問 中島議員・埜口議員・永田議員・日高議員

○中島議員 滞在助成金について、病院などで滞在する場合
は全額助成と考えるが見解を
伺う。

○村長 滞在助成については、
村としても必要な制度であり、
充実させたい政策の一つである
ことから、国や県に要望し、
制度の拡充に向けて引き続き
訴えており、検討段階である
が令和7年度当初予算の編成
において、内容を見直したい
と考えている

○中島議員 農業について、
過去に様々な作物を奨励し機
械の導入等を行ったが失敗し
ている。過去の事例の失敗原
因は何か。

○村長 過去の事例の検証につ
いては、作物ごとに営農指導

員を中心に分析を行っている。

例として、サンセベリアにつ
いては、お墓に飾る観葉植物
として人気が高く高齢者でも
作りやすい等の点から進めら
れ安定的に出荷を行っていた
が、病気の蔓延により生産出
荷が出来なくなった事が大き
な要因である。馬鈴薯につい
ては、沖永良部・長島の出荷
の合間に出荷を考え栽培を進
めたが、日照不足や病気が発
生し断念した経緯がある。



▲ 中島 次男 議員

○埜口議員 令和6年第3回
定例会において質問した地域
おこし協力隊の任期終了後の
定住支援等が改善・検討され
たか伺う。

○村長 地域おこし協力隊の任
期終了後の自立定住に向けた
支援として、総務省や鹿児島
県が実施している研修があり、
参加費用を予算措置すること
もに研修への参加を呼びかけ
る。また、定住に向けて資格
取得や環境整備に必要な
経費について、国の財政支援
の対象となることが、地域お
こし協力隊推進要綱に定めら
れていることから必要に応じて
予算措置を行いたい。

○埜口議員 来年度予算編成
にあたり、村長の具体的な政

策ビジョンについて伺う。

○村長 立候補するにあたり
政策ビジョンとして掲げたもの
は、安心安全な村づくり、交
通体系の強化等の7項目を掲
げた。安心安全な村づくりと
しては医療機関と連携した
ネットワークの強化等、どの島
に施設を作るといった事では
なく、平準化を図りたい。交通
体系の強化については、フェ
リーの安定運航、岸壁の整備、
道路の舗装補修、不測の事態
の連携拡充を図りたい。



▲ 埜口 裕之 議員

○永田議員 高校へ進学するにあたり親元を離れ生活習慣や社会生活を守るなど様々なものが教育において求められるが、教育現場の状況について認識を伺う。

○村長 今年度から義務教育学校として、中学校籍の教員が前期課程を教える事ができるようになり、これらのことが児童生徒の学力向上に繋がっていくものと考えている。学力とともに、自立する力を養い、お互いの人権・人格を尊重し、豊かな心を育む教育の実践を推進するよう教育長に指示している。

○永田議員 高校生就学支援金の対象を高校生以外にも範囲を広げることは可能か伺う
○教育長 この制度は、高校が設置されていない本村における教育の機会均等の観点

から、意志ある高校生が安心して勉学に打ち込める環境を創出するため、学校教育法に定める高等学校及び高等専門学校等へ通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的に定めた制度である。本制度は国の補助金に沿って作られた要綱であり、大学等への進学は、村単独での財源となり、制度設計は財政的に非常に困難である。



▲ 永田 和彦 議員

○日高議員 戦後80年、幾多の困難を乗り越え、十島村が日本に復帰し70年が過ぎ、復帰当時を知る出身者が減少している。島民が一致団結し復帰を成し遂げた先人たちの思いを受け継ぐ為のとしまの日制定について、村長の見解を伺う。

○村長 本村にとって昭和27年の本土復帰は重要な節目であり、当時を知る住民が減少していることは残念な思いであります。としまの日条例については、日本復帰及び村政施行70周年記念式典の前に、としまの日に関する制定の話があり、その時は、記念式典までに期間が短く、検討が間に合わない状況であったと承知している。戦後、占領下に置かれた他の地域では、日本復帰の日とし

て幾つかの自治体で条例制定が行われていることから、本村においても、制定は可能だが、何も行事を行わなければ意味がないと考える。この件については以前に各島検討委員会の意見を集約し、制定に反対の意見は特段出なかったが、イベントを行うのは難しいといった意見があった。今後、住民との会話の中で、としまの日制定について検討したいと考えている。



▲ 日高 助廣 議員

一般質問 竹内議員・赤木議員

○竹内議員 定住促進対策について、近年の移住・定住希望者の減少を受け、現行の制度に柔軟性を持たせる制度へ見直しは可能か伺う。

○竹内議員 フェリーの年末年始の運航について、乗組員と島民の負担が大きいと感じる。今後の運航についてどのように考えているか。

○赤木議員 地域おこし協力隊推進要綱の改正で一般社団法人等での雇用が出来なくなると聞いているが、どのように対応を考えているか伺う。

○赤木議員 地域おこし協力隊の採用時に、特に気を付けている点はなにか伺う。

○村長 採用時に特に留意していることとして、下見の際に、可能な限り時間をかけて島を見てもらい、また、定住者サポート推進委員会を開催し、移住者の不安の解消を図り、移住の実現に繋がるよう取組んだ上で、応募するか判断してもらっている。

○村長 移住定住に関して、令和2年に助成制度を拡充し、引越し費用助成の引き上げ等の対策を講じ、ある程度の効果はあったものと考えている。他の自治体では移住世帯に300万円を助成金として支給しているが、財政規模の小さい本村では困難である。

○村長 年末年始の輸送実績は車両・貨物ともに少ないのが現状である。今後の運航については、アンケート等を行ううえで、年末年始の運航の必要性について検討したい。

なお、令和7年度については運航計画を公表していることから年末年始の運航は行う。

○村長 今回の改正について総務省へ意見照会を行ったところ、民間企業で地域おこし協力隊を社員として雇用することを妨げるものでなく、地域協力活動として認められる事業と認められない事業の経理等を切り分けて整理してもらいたいという趣旨であった。

○村長 売店業務に係のない、内部事務に対して、企業が報酬を支払うこととすれば、引き続き売店へ地域おこし協力隊を派遣することができる見通しである。

今後は、移住希望者と定

住者サポート推進委員会を繋ぎ、行政と住民が一丸となって顔合わせや下見を実施し、地元とのミスマッチを減らすよう取組んでいきたい。



▲ 竹内 功 議員



▲ 赤木 芳樹 議員

議決結果

十島村議会令和6年12月定例会・令和7年1月臨時会 全て全会一致で原案のとおり可決致しました。

令和6年第4回（12月）十島村議会定例会

議案番号	件名	議決結果
議案第73号	令和6年度十島村一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第74号	令和6年度十島村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第75号	令和6年度十島村船舶交通特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第76号	令和6年度十島村介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第77号	令和6年度十島村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第78号	令和6年度十島村簡易水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第79号	令和6年度十島村へき地診療所運営事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第68号	十島村職員の高齢者部分休業に関する条例制定の件	原案可決
議案第69号	十島開発総合センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決
議案第70号	十島村畜産施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決
議案第71号	十島村国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決
議案第72号	十島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決
議案第80号	鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更の件	原案可決
議案第81号	指定管理者の指定について議会の議決を求める件 (小宝島家畜保護施設)	原案可決
議案第82号	契約の締結について議決を求める件(特産品加工機材物品売買契約)	原案可決
議案第83号	契約の締結について議決を求める件(中之島村宮住宅15号棟整備工事請負契約)	原案可決
議案第84号	契約の締結について議決を求める件(小宝島港改修工事(1工区)請負変更契約)	原案可決
議案第85号	契約の締結について議決を求める件(小宝島港改修工事(2工区)請負変更契約)	原案可決
議案第86号	契約の締結について議決を求める件(悪石島送水施設工事 (R5補正)請負変更契約)	原案可決
同意第9号	教育委員会教育長の任命について同意を求める件	同意
発議 第2号	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書	原案可決

令和7年第1回（1月）十島村議会臨時会

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	十島村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	原案可決
議案第2号	令和6年度十島村一般会計補正予算(第6号)	原案可決

主な報告

○十島村職員の高齢者部分休業に関する条例制定の件

職員の高齢者部分休業に関し必要な事項を定めるため、この条例を制定する。

○十島村国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件

令和5年6月9日に公布された「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」により令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、被保険者証の返還に応じない者に過料を課す規定を削除するため、国民健康保険条例の一部を改正する。

同意

○教育委員会教育長の任命・・・教育長 木戸 浩

令和6年度補正予算

・一般会計 補正第5号	+270,571千円	→	4,686,502千円
・国保特会 補正第2号	+3,119千円	→	188,028千円
・船舶特会 補正第3号	+6,074千円	→	1,545,948千円
・介護特会 補正第2号	+3,276千円	→	79,524千円
・高齢者特会 補正第1号	+2,738千円	→	9,612千円
・診療所特会 補正第3号	+3,679千円	→	239,029千円
・一般会計 補正第6号	+26,364千円	→	4,712,866千円

編集後記

今回の議会だよりは、6名の議員の一般質問と議決結果を中心に編集しています。

議長 坂元 勇

議会広報調査特別委員会

委員長 竹内 功

副委員長 中島 次男

委員 中村 勇貴

委員 埜口 裕之

委員 日高 助廣

委員 永田 和彦

委員 赤木 芳樹

